



3月うぶやま天文台星空情報 4

水星が東方最大離角



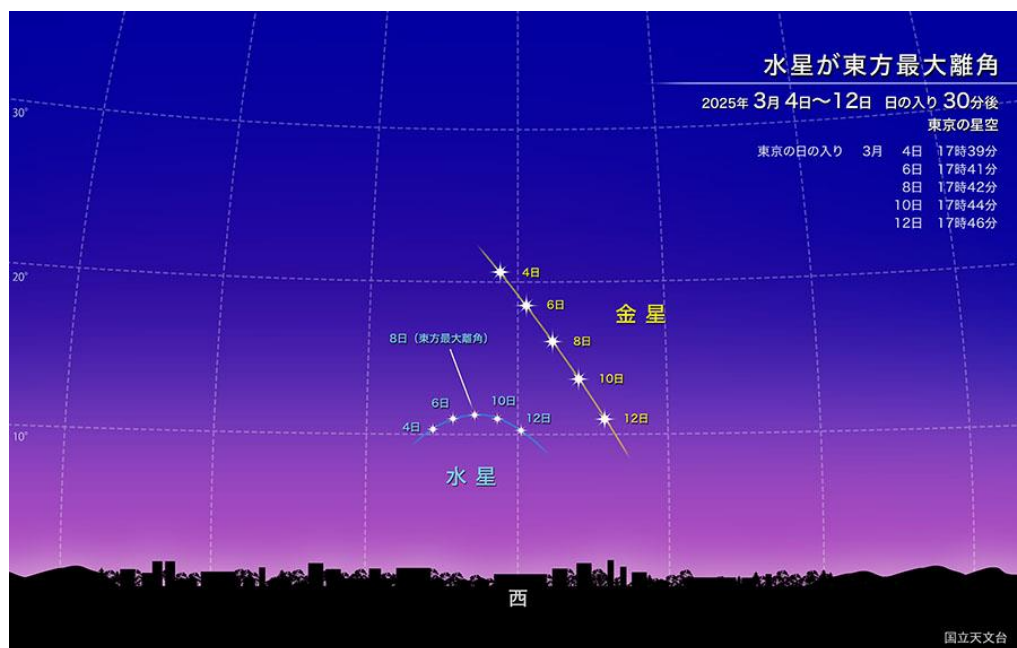
天空が広がるうぶやまの高原は、陽が長くなり、暖かい風が吹き始め、春の訪れを感じさせます。宵の空には冬の星座が見え、それを追いかけるように春の星座が東から昇ってきます。

3月はなかなか見ることが出来ない水星に注目しましょう。

水星は、太陽系の最も内側を公転している惑星です。このため、水星の見かけの位置が太陽から大きく離れることがなく、見つけやすくなる時期は、太陽から見かけの位置が大きく離れる「最大離角」前後に限られます。

3月8日に水星は、太陽の東側に最も離れる東方最大離角となり、この日の前後には、日の入り直後の西の低空で水星が見つけやすくなります。熊本では、3月4日から3月12日の間、日の入り30分後の水星の高度が10度を超えます。水星を観察できるチャンスです。

特に今回の場合、水星の少し高い位置には明るい金星が輝いています。この金星を目印に、水星を探してみてください。水星は0等級の明るさですが、薄明の夕焼けの残る西の低空は明るいので、双眼鏡があると見つけやすいでしょう。双眼鏡を使う場合は太陽を見ないように、太陽が沈んでから観察を始めて下さい。



水星が東方最大離角